

毎年3月・10月の年2回発行していた「ソルフェージュスクール新聞」ですが、イベントのご報告や今後の予定などの最新情報を、よりリアルタイムにお知らせできるように、発行回数を増やすことにしました。「ソルフェージュスクール NEWSLETTER」と名前もリニューアルし、コンパクトで充実した紙面にしていきますので、引き続きよろしくお願いいたします。

秋のおさらい会

10月27日(日)、秋のおさらい会がありました。日々の練習の成果を保護者の方やお客様の前で発表するという場を通じ、生徒自身が音楽的成長や課題を見つける良い機会です。今回は、長年ソルフェージュスクールで学ばれ、プログラム最後に歌ってくださった河向実さんにおさらい会の感想をいただきました。

❖ スクールでの学び ❖

秋晴れの涼しい日曜日にソルフェージュスクールにて秋のおさらい会が開催されました。たくさん生徒さんが参加される中、私も急遽参加させていただきました。

私がソルフェージュスクールに通いはじめたのは小学4年生からで、最初は歌ではなくヴァイオリンでした。ヴァイオリン時代は糸井先生に表現の仕方や脱力の方法を細かくご指導いただき、声楽は江原先生に言葉の発音や読み方、そして発声まで基礎の基礎をしっかりとご指導いただきました。ヴァイオリンでは楽しくアンサンブルや夏の合宿等に参加させていただきましたが、高校3年生で声楽に転専攻してからもまだまだひよっここの私にたくさんのお客様の前で歌う機会を与えていただき、この経験が大学入試にも生かされたと思います。

❖ 大好きなドニゼッティのアリア ❖

今年、大学を卒業しますが、ありがたいこ

とに来春から同大学の大学院に進めることになりましたので、ソルフェージュスクールのみなさまに私の成長を聴いていただければと思います。大学院の入試で歌ったレスピーギの『最後の陶醉』とドニゼッティのオペラ《ロベルト・デヴェリュー》より『希望が無駄にならないといいが〜生きるがいいわ』を歌わせていただきました。とくにドニゼッティのアリ



河向実さん
素敵な歌声を聴かせてくださいました！

アは大好きな曲なので、慣れ親しんだソルフェージュのホールで歌うことができ幸せでした。この日はあまり体調が優れませんでした。本番になるとみなさんの温かい空気感のおかげで、落ち着いて歌うことができました。歌い終わった後に私と同じ大学を目指しているという方が「ほんとうに素敵でした！私も受験頑張ります！」と声をかけてくださり、参加させていただきほんとうに良かったなあと思いました。

❖ 学びを糧に ❖

私の音楽人生はまだはじまったばかりですが、ソルフェージュスクールで学ばせていただいたことはこれからも大きな糧になっていくと思います。またみなさまの前で成長した姿を見ていただけるようにこれからも精進してまいります。素敵なおさらい会を開催してくださった先生方、すべてのみなさまに感謝いたします。ありがとうございました。

河向実 (大学4年)



ホールに出演者たちそれぞれの音色が響き渡ります。

～プログラム～

- | | | | |
|--------------------|----------|-----------------|--------|
| 1. キリンのむれは草原を駆ける | 平吉毅州 | 8. むこうむこう | 中田喜直 |
| 2. ボルカノバックパイプ吹き | ジョン・ジョージ | 私を泣かせてください | ハンデル |
| 3. ガラスのくつ | ギロック | 9. ロンド (Cl 二重奏) | ブレイエル |
| 4. タランテラ | ブルグミュラー | 10. 古代メヌエット | ラヴェル |
| 5. エリーゼのために | ベートーヴェン | 11. 最後の陶醉 | レスピーギ |
| 6. ソナタK 545 1 楽章 | モーツァルト | 希望が無駄にならないといいが | ドニゼッティ |
| 7. ハフナーセレナーデより ロンド | モーツァルト | ～生きるがいいわ | |

研究会

2019年9月13日(金) 担当講師：津布楽杏里

今回のソルフェージュスクール研究会は『幼稚園・保育所で行われている音楽教育』～歌われている歌を中心に～というテーマで行われました。幼稚園、保育所及び認定子ども園等(以下、幼稚園等)は「幼稚園教育要領」、「保育所保育指針」及び「幼保連携型認定子ども園教育・保育要領」を礎にして教育が行われています。幼稚園等で行われている音楽教育は5領域(小学校の5教科のようなもの)の中の「表現」に位置づけられています。

⇒「表現」の目的

研究会では、まずこの「表現」領域が示された背景などを概観しました。「表現」領域は豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにすることを目的としています。このよう

な目的の中、幼稚園等ではさまざまな音楽活動が展開されています。毎日歌われる生活の歌(朝・昼・お帰りに歌われる歌)を中心に、研究会参加者で実際に歌ってみました。付点のリズム(スキップのリズム)が頻出すること、人によって拍子の感じ方が異なることなどが気づきとして挙げられました。また、幼稚園等で毎朝行われている、音楽を中心とした「朝の会」を体験してみました。そこから音楽の重要性や音楽を効果音のように使用している様子が感じられました。

⇒幼稚園の愛唱歌

次に、幼稚園等で愛唱されている歌が、どのような経緯で現在に至っているかについて認識を共有しました。「うたのおばさん」(1949年)、

「ろばの会」(1955年)、「NHKみんなのうた」((1961年)などから、数多くの素晴らしい歌が生まれました。これらの歌の弾き方や和音付けについて参加者で意見交換を行いました。

⇒きれいな音を探す

最後に、ソルフェージュスクールが目指す音楽の方向性について意見が交わされました。自ら出している音を注意深く聴き、きれいな音(タッチ)を探し、音の質を追求していくことの大切さが話し合われました。また、音楽を人生の楽しみとして、長く共に歩いていくことの素晴らしさで意見が一致し、会が閉じられました。



※※今後の予定※※

クリスマスコンサート

12月22日(日) 午後2時開演
ソルフェージュスクール 3Fホール

《プログラム》

カノン	パッヘルベル
ドッベルコンチェルト	バッハ
Pie Jesu	ボブ・チルコット
ホワイティ・クリスマス	I・バーリン
天なる神には	クリスマスキャロル
唄、子守歌	津布楽杏里
シャンペントッカータ	ギロック
舞踏会の美女 ほか	アンダーソン
.....

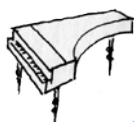
《出演者からのメッセージ》

今回室内楽で演奏する曲は2曲ともとても有名な曲です。ドッベルコンチェルトはレッスンでも弾く曲なので大きい生徒さんにはお馴染みですね。まだ弾いたことがない生徒さんも勉強になりますので、ぜひ聴きに来てください♪ (妹尾先生 (Vn))



ソルフェージュスクールで静かにクリスマスをお祝いしましょう。みなさんの知っている曲やこのコンサートのために生まれた曲で、あたたかい気持ちになれると思います。ぜひ、みなさんでいらしてくださいね。(江原先生 (Vo))

連弾と聞いて、どんな光景を想像しますか? ピアノの前に並んでいっしょに弾きますね。今回は、楽しい曲を、2人、3人、そして4人で弾きます。4人でどうやって弾くのでしょうか? お楽しみに! (込山先生 (Pf))



《教室訪問記》

今回は、江原先生にソルフェージュとピアノのレッスンを受けている萌ちゃんのお教室におじゃましました。この日は「コンサートを開こう!」という萌ちゃんの提案で、人形のお客様をたくさんお招きして歌を披露! 太鼓をたたいてリズムもしっかり学んでいます。いつもニコニコ笑顔な萌ちゃん。これからも大好きな江原先生と楽しく学んでいってくださいね♪



(編集後記)

『ポーズ』は、スクールに関するいろいろな情報をお届けするミニコーナーです。今回の『教室訪問記』のほかにも、さまざまな企画を考えていますので、どうぞお楽しみに!

↓スクールの情報はこちら↓

Facebook



Web

